2025年12月11日、アスタナ市において、飯島大使とヴァヴィエルニヤ UNDP カザフスタン代表との間で、供与額 7.65 億円の対カザフスタン無償資金協力「中央アジアにおける広域災害リスク軽減のための体制強化計画（UNDP 連携）」に関する書簡の署名・交換が行われました。

本プロジェクトは、カザフスタン、キルギス共和国、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンの5か国を対象に、地震をはじめとする大規模自然災害への備えと対応能力を、国及び地域レベルで強化することを目的としています。

中央アジア地域は、地震リスクの高い地域であり、特に人口密集地における被害が懸念されています。本プロジェクトでは、国境を越えて影響を及ぼす大規模災害に効果的に対応するため、地震リスク等に関する意識向上と防災・減災に向けた備えの促進等を実施します。

日本政府は、今後もカザフスタンとの協力を深め、防災対策の強化に向けた支援を継続してまいります。

From
the People of Japan
UNDP